

演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [谷達彦ゼミ]

テーマ	日本の財政と経済社会の諸問題
演習内容	子育て支援、教育、社会保障、公共事業、税金など、現代の経済社会では財政が私たちの生活に密接に関わっています。本科目では、少子高齢化や経済格差などの日本が直面している諸問題を解決するためにどうすればよいのかを財政の理論と実際の両面から議論し、これからの日本財政のあり方を考えます。
目標	財政の基本的な概念や制度について理解すること、日本財政の現状や課題について把握すること、これからの日本財政のあり方を理論と実際の両面から考察できることを目標としています。

演習Ⅰ [2年生] 演習Ⅱ [3年生] 演習Ⅲ [4年生]

前期は教科書などの輪読を通じて財政の基礎を学びます。後期はテーマごといくつかの班に分かれて探求を進めます。2024年度は介護人材の確保、住宅に関する支援、少子化対策をテーマに議論しました。

前期は専門書の輪読を通じて財政に関する理解を深めます。2年生と同様に後期はテーマごといくつかの班に分かれて探求を進めます。発表と議論を通じて日本財政の現状と課題について理解を深めます。

これまでの学びの成果として論文執筆に取り組みます。各自の問題関心に応じてテーマを設定し、関連する専門的な論文を読みます。執筆の過程では発表と議論を繰り返し、改善のためのアイデアを出し合います。



これまでの論文テーマの例

- 働き方の多様化と所得税
- 東北の復興と課題—財政の視点から
- 少子化対策の現状と課題
- 若者の投票率低下と財政問題
- 資産形成と税制のあり方
- 宿泊税と観光都市の現状と課題

2024年の他のテーマ

アレウィルソンゼミ 経済・企業とSDGs	佐藤 純ゼミ イギリス史から考えるグローバル経済
泉 正樹ゼミ 資本主義の歴史展開と経済学	佐藤康仁ゼミ 少子高齢化と財政・社会保障
板 明果ゼミ データを活用して経済社会問題を考える	塩見由梨ゼミ 経済学古典講読
伊藤健宏ゼミ 経済政策(とくに社会保障政策)を通して「経済学的な考え方」に親しむ	篠崎 剛ゼミ 経済成長と国際貿易
稲見裕介ゼミ 日本の産業を読み解く	白井大地ゼミ 経済学と実証分析で読み解く経済問題
岩本菜々ゼミ RIによる統計解析	白鳥志志ゼミ 近現代日本経済史入門
大塚芳宏ゼミ データ分析	谷祐可子ゼミ 環境問題と経済の関わりについて考える
窪田恵子ゼミ 持続可能な開発について、国内外の実態を調査しながら検証する	田野 穂ゼミ 動向と事例に学ぶ日本企業
倉田 洋ゼミ 日本をとりまく経済問題を考える	千葉昭彦ゼミ 「まちづくり」から地域経済・地域問題を考える
黒阪健吾ゼミ マーケットデザイン入門の入門	舟島義人ゼミ 応用マクロ経済学
小林陽介ゼミ 情報化の進展と金融の未来	松前龍直ゼミ 動学モデル分析の基礎
	望月理生ゼミ 「東北」を地域経済論の視点から考える
	吉田 惇ゼミ 都市で見られる現象や諸問題の理解と経済学的解決策

e-ラーニング

東北学院大学では、学生の皆さんが講義内容をより深く理解できるように、e-ラーニングを導入しています。LMS(学習支援システム)を活用している講義では、スマートフォンまたはパソコンを用いて問題演習や課題提出、意見の交換、グループワークなどを行うことができます。講義内で先生が質問やアンケートに使用する場合は、同じ質問への他の学生の回答や意見を知ることができ、問題を多様な視点から考える機会を提供します。さらに、大学のさまざまな場面でパソコンの使用機会が増加していることを受け、本学ではBYOD(Bring Your Own Device: 学生が自分のパソコンを持参して学修に活用する取り組み)を実施しています。どこでも使えるe-ラーニングを最大限に活用して、より充実した経済学の学修を目指しましょう。

経済学科から社会へ 新卒者VOICE



川村 紫乃さん
出身地(都道府県): 岩手県
出身高校: 岩手県立盛岡第二高等学校
就職先: 東京海上日動火災保険株式会社
講義やゼミ活動を通じて、生活と密接に関係する経済に関する幅広い知識を得ることができました。ゼミで出場した大会では、問題を深く洞察する力や伝える力が養われました。この4年間でただ学ぶのではなく自ら考え発信する力が身につく、大きく成長できたと思います。

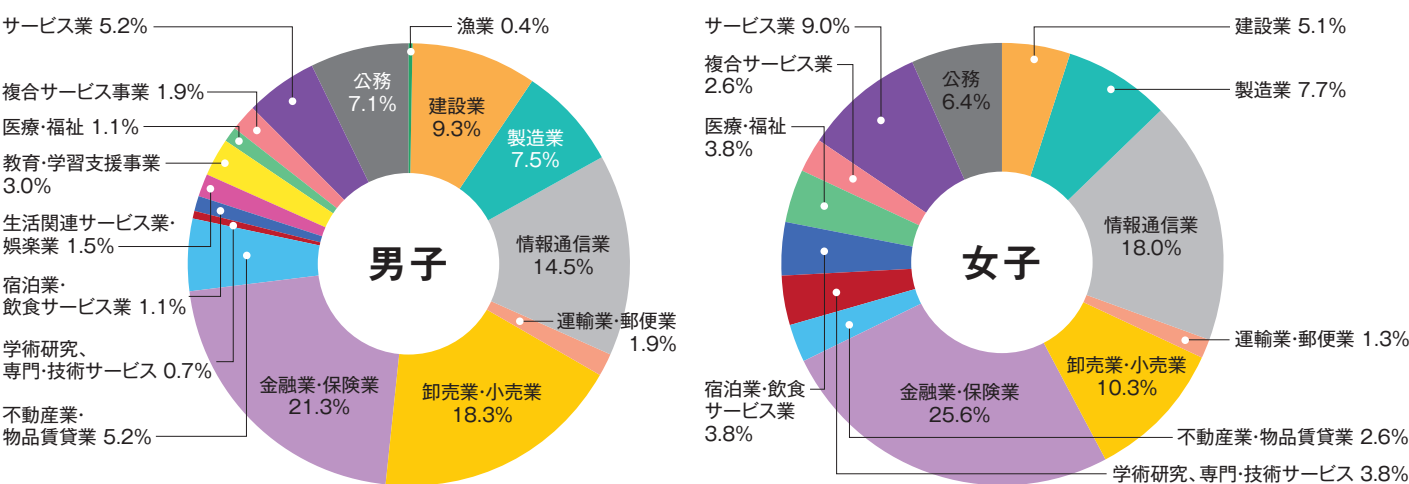
有我 耕さん
出身地(都道府県): 宮城県
出身高校: 宮城県泉松陵高等学校
就職先: 株式会社あさひ
経済学科での学びを通じて、先を見通す能力と経済現象を深く追求することにより多角的に見る視点を身につけることができました。特にゼミ活動では、ゼミ仲間と共に研究することで、知見を広げるだけでなく、多くの気づきを得ることで自身の成長に繋がったと感じています。

菊地 健介さん
出身地(都道府県): 福島県
出身高校: 福島県立白河旭高等学校
就職先: 福島県庁
普段見かけられないような何気ない事も、経済学と密接に結びついているという事を、講義やゼミを通して深く学ぶことができました。4年間の生活を通して培われた好きなことを深く学び続けるという継続する姿勢は、社会に出ても役に立つものだと思います。

櫻田 優希さん
出身地(都道府県): 青森県
出身高校: 三沢高等学校
就職先: クラシタス株式会社
ゼミでは講義で学んだ経済学理論や知識をもとに、研究や専門書を読み解く活動をしました。自身とあらゆる事象が経済に関わることを実感し、何故その結果を引き起こしたのか考え、世の中を見るようになりました。振り返るとこの経験が就職活動にも活かすように感じます。

社会のニーズに応えるカリキュラムのもと、多くの人材を世に送り出してきた経済学科。その卒業生は、東北各地の多彩な分野において活躍中です。

2024年度卒業種別就職状況



経済学科の主な就職先(抜粋)

- 建設業 (株)ユアテック (株)一条工務店 (株)オノヤ 清水建設(株)
- 製造業 アイリスオーヤマ(株) SMC(株) 東北エブソン(株)
- 情報通信業 (株)TTK (株)ドコモCS (株)日立ソリューションズ (株)NTTデータ東北 (株)Wiz 扶桑電通(株) (株)日立ICTビジネスサービス 富士フィルムシステムサービス(株)
- 運輸業・郵便業 東邦運輸倉庫(株) ● 卸売業・小売業 (株)バイタルネット カヌイ(株) 宮城トヨタ自動車(株) 仙台トヨペット(株) (株)クスリのアオキ イオン東北(株) (株)IDOM (株)仙台銘板 (株)ニトリ ● 金融業・保険業 (株)東邦銀行 (株)北日本銀行 (株)七十七銀行 (株)かんぽ生命保険 (株)仙台銀行
- 東北労働金庫 (株)山形銀行 (株)東北銀行 (株)福島銀行 (株)秋田銀行 石巻信用金庫 ● 不動産業・物品賃貸業 積水ハウス不動産東北(株) 東急リアル(株) ● 学術研究、専門・技術サービス 税理士法人あさひ会計 ● 宿泊業・飲食サービス業 リゾートトラスト(株) ● 生活関連サービス業・娯楽業 (株)快活フロンティア
- 教育・学習支援事業 (株)仙台進学プラザ ● 医療・福祉 大崎市民病院 ● 複合サービス事業 日本郵便(株) ● サービス業 (株)SKホールディングス (株)アイティ・コミュニケーションズ 仙台支社 (株)マイナビ ● 公務員 伊達市 白石市 一関市

その他にも多数の企業へ就職しています。詳細はWEBへ!
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/economics/about/career.html>

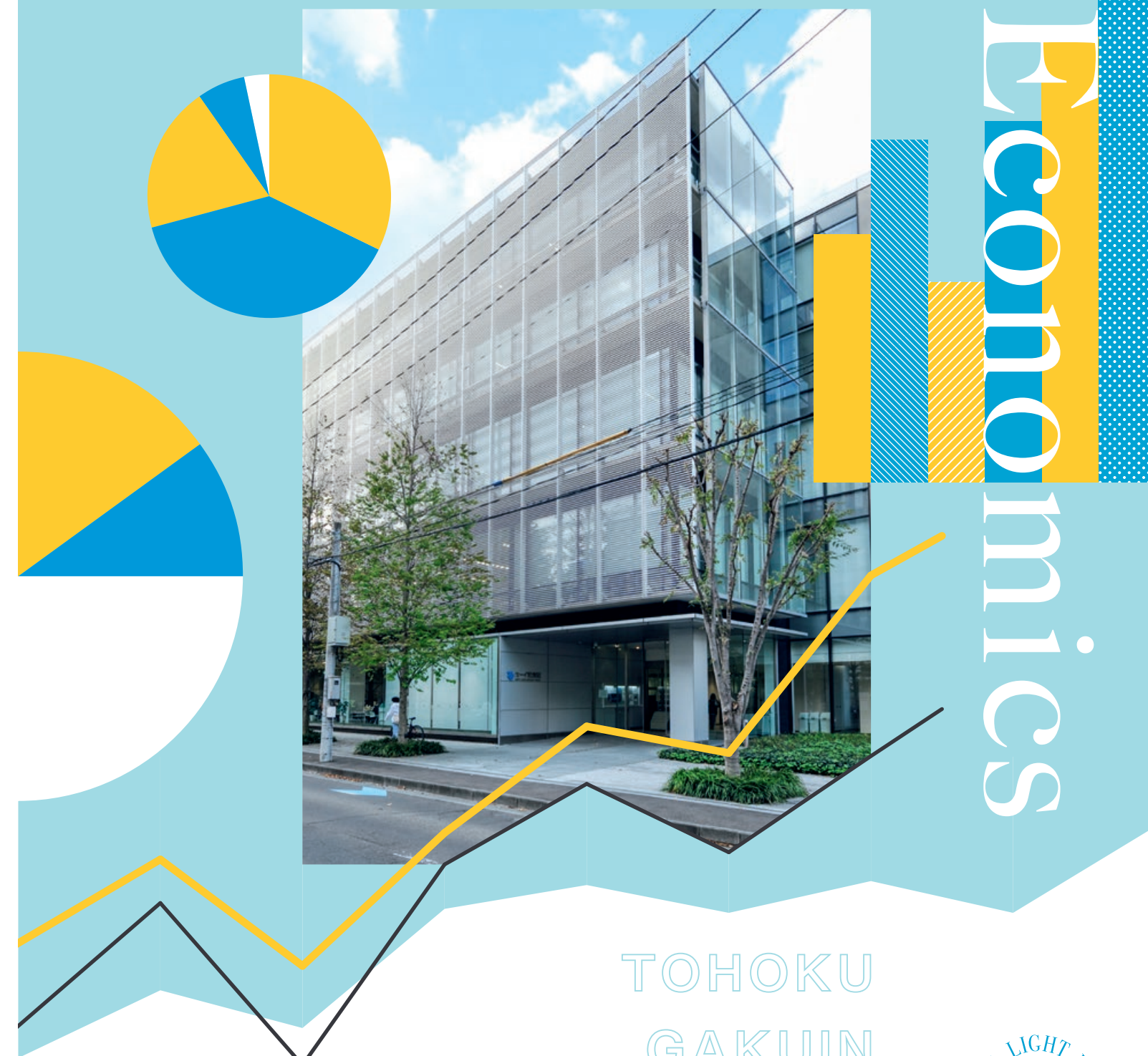


2025 東北学院大学 経済学部 経済学科

ガイド

Department of

Economics



TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY



経済を読み解く力が身につく 経済学科カリキュラム

多彩な科目の「講義」を揃え、少人数で行なう「演習」も全学年にあります。

目的意識を持って勉強することで自分を高め、社会に貢献できる力が身につきます。

経済学科の理念・目的

キリスト教精神と幅広い教養教育を基礎に、経済学の専門的知識を修得し、時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身に付け、多方面において社会に貢献できる人材を養成する。

		1年次	2年次	3年次	4年次		
専門教育科目	第1類	コア (基礎科目)	ミクロ経済学入門 I・II マクロ経済学入門 I・II 資本主義経済入門 I・II	経済数学 I・II ② 統計学入門 I・II 日本経済入門 経済データ入門 I・II	資本主義経済理論 I・II 経済統計学 I・II 経済学史 ミクロ経済学 I・II 計量経済学 I・II 経済思想史 マクロ経済学 I・II		
	第2類	総合演習	① 総合演習				
		演習		演習 I	演習 II	演習 III	
		理論			ゲーム理論 I・II ④ 行動経済学 I・II 経済動学理論 I・II	③ 開発経済学 I・II 金融政策論 金融論 I・II 金融システム論 国際金融論 I・II	国際経済学 I・II 経済学特殊講義 I
	第3類	産業・政策		応用計量分析 I・II 産業組織論 I・II 労働経済学 I・II	財政学 I・II 財政システム論 財政政策論	公共経済論 公共選択論 地方財政論	⑤ 経済政策論 I・II 都市経済学 I・II 環境経済学 I・II
		社会経済		政治経済論 I・II 情報経済論 I・II 日本経済史 I・II 西洋経済史 I・II	日本経済論 日本産業論 グローバル経済論 I・II 地域経済論	経済立地論 東北経済論 東北開発論 農業経済論 I・II	経済学特殊講義 II
	第4類	卒業研究・卒業試験					卒業研究 卒業試験
第5類	英語による経済学		外国書講読 I・II Business and Financial English I・II Seminar A	Seminar B Seminar C			
第6類	資格講座		ファイナンシャル・プランナー講座 I・II キャリア形成論	ファイナンシャル・プランナー講座 III・IV 公務員試験経済学講座 I・II			
第7類	情報・通信基礎工学		アルゴリズム論	簿記学 I・II 人工知能 データサイエンス	民法 I・II 会社法 I・II 経営学総論 I・II		
教養教育科目	T G ベーシック	人間的基礎	聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想	よき社会生活のためにA(法律) よき社会生活のためにB(福祉) よき社会生活のためにC(健康)	共生社会と倫理 科学技術社会と倫理	キリスト教学 A(キリスト教と倫理) キリスト教学 B(キリスト教と宗教)	キリスト教学 C(キリスト教と文化) キリスト教学 D(キリスト教と現代社会)
		知的基礎	リーディング&ライティング クリティカル・シンキング	統計的思考の基礎 科学的思考の基礎			
		課題探究	キャリア形成の探究 地域ボランティア活動の探究	課題探究演習	データ活用による探究 地域課題の探究	東北学院史の探究	
	学科教養科目	人文系	哲学 文化の歴史 倫理学 歴史学 言語論 芸術論 音楽 文学 文化人類学				
	社会系	心理学 経営学 日本国憲法 地理学 ジェンダー論 社会学 法学 現代の政治 社会福祉論 東北地域論					
	自然系	数理の科学 生命の科学 自然の科学 AI 社会の基礎 記号論理学 環境の科学 先端科学と技術					
外国語科目	第1類	英語 I A・B	英語 II A・B				
	第2類	ドイツ語 I A・B フランス語 I A・B 中国語 I A・B 韓国・朝鮮語 I A・B	ドイツ語 II A・B フランス語 II A・B 中国語 II A・B 韓国・朝鮮語 II A・B	ドイツ語コミュニケーション A・B フランス語コミュニケーション A・B 中国語コミュニケーション A・B 韓国・朝鮮語コミュニケーション A・B	ドイツ語 III A・B フランス語 III A・B 中国語 III A・B 韓国・朝鮮語 III A・B		
	第3類	ベーシック英語 英語コミュニケーション			英語 III A・B		

なお、カリキュラムには多少の変更が生じます

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本学は、次の方針に基づき学士の学位を授与する。学生は、各学部学科における卒業所要単位の修得を中心とする学修活動により、これらの方針にそった学修成果をあげることが期待される。

- 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる
- 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる
- 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
- ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる
- 経済学部においては、次の学修成果を示すことができる
 - 国内外の経済状況を理解し、経済モデルなどを用いてその特徴を説明できる
 - 統計データを活用して経済状況を分析できる
 - 今日の経済の動きの歴史的背景を説明できる
 - 東北地方の経済状況及び特徴を説明できる
 - 今日の経済が直面している課題を見出し、改善策を考えることができる
 - 経済社会についての様々な思想や理論の概要を説明できる

授業① 総合演習

総合演習は、1年生の総合的な導入科目です。「経済学とは何か」、「大学においてどのように勉強したら良いのか」について考え、また学内の施設の有効な活用方法などを教えます。この科目では、現代のグローバルな経済社会における課題、経済と関連するさまざまなテーマを取り上げて、共に考え、討論します。また、新聞や本を読み、自ら研究テーマを発見し、それをレポートにまとめて発表します。担当教員がレポートや発表を添削し、改善点をコメントすることで、リサーチリテラシーを高める科目です。



授業② 統計学入門

近年、データ分析の必要性が高まっており、仕事上でデータを扱う機会が増えてきています。統計学入門は、データ分析の基礎力を身に付けることを目的とし、統計学の入門の内容について、前期と後期の1年を通して学ぶ講義です。統計学を全く勉強したことがない方を対象としているため、高校数学の確率の復習から講義を始めています。また、Excelによる統計分析の基礎についても指導しています。

授業③ 開発経済学

開発経済学では、経済成長を達成する方法について学びます。この講義では、主に開発途上国の観点から、開発経済の基礎、貧困の定義、持続可能性の意味、「発展した国」とはどのような国のことか、世界の国々が直面するさまざまな課題と現状、日本および先進諸国の役割などについて、理論だけにとどまらず、データや逸話も交え、自分の生活に直接関係する現在の社会問題として学びます。

授業④ 行動経済学

伝統的な経済学は人間の行動を説明するさまざまな理論を構築してきました。ところが、これらの理論では説明できない例外事象があることが明らかになってきました。行動経済学は、それらの例外事象を伝統的な理論と矛盾することなく説明できるよう、経済学の理論をアップデートする試みです。この授業では人間の行動から5つを取り上げ、伝統的な経済学による説明と、行動経済学における説明を交互に紹介します。

授業⑤ 経済政策論

経済政策論では、経済学を使って、社会が抱えるさまざまな経済問題を分析し、その解決策を考えます。たとえば、競争を調整するための規制や、特定の産業を支える補助金、国内産業を守るための関税などのミクロ経済政策、また、財政政策や金融政策などマクロ経済政策について学びます。さらに、これらの政策が個人や社会にどのような影響を与えるかを「効率性」や「公平性」といった視点から考えます。

詳しくは大学要覧(Syllabus)を参照してください。 <https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/syllabus/>

